

大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～（改訂案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～（改訂案）について
(2) 募集期間 令和7年11月25日（火）から12月12日（金）までの18日間
(3) 意見提出状況 提出意見：13件、提出者：10人、提出方法：書面10件

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

No	意見の概要	回答（市の考え方）	修正箇所
1	文化会館を耐震補強して残してほしい。	平成20年に実施した耐震診断調査の結果は、E判定で、「耐震性は相当劣る」との評価でした。 また、令和7年に建築分野の専門家へ聴き取り調査を実施した結果、「60年近く経過した施設の耐震化は一般的でない」ことや「耐震化にかかる事業費が高額になる」ことなど、耐震診断調査や専門家の意見を踏まえ、文化会館の耐震化、長寿命化は行わず、令和8年5月末をもって閉館し、除去（解体）を進めることとしました。	なし

2	<p>これからの子供達のために、文化施設は必ず必要な施設。無くすことは簡単かもしれないが、新たに作る事は大変である。何らかの形で残してほしい。</p>	<p>大野市文化会館あり方検討委員会からの報告書を受け、市は文化活動発表・鑑賞の場に関する方針において、令和8年5月末をもって文化会館を閉館し、市内の既存施設を活用していく方針を決定しました。</p> <p>文化活動が継続できるよう、市内既存施設の環境づくりに取り組みます。</p>	なし
3	<p>文化会館を使用している者にとっては文化会館の解体は非常にショック。練習、発表の場が無くなり、多くの市民が活動が続けられなくなる。市民の良い環境での文化活動の場もなく、発表の機会もなくなり、大野市の文化の力も失われる。</p>		
4	<p>文化会館の代替施設の「めいりん」について、小規模な補修や備品の購入では代替施設として不十分で、大規模改修をしてほしい。</p>		
5	<p>「めいりん」講堂の改築を強く望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後ろの壁を壊し講堂を広くする。 ・玄関を駐車場側に移し、下足で入れるようにする。 ・座席を増やす。 		
6	<p>「めいりん」に文化会館同様の設備を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下足のまま入れるようにする。 ・外の雨や車の影響を受けない外壁にする。 ・客席は固定席とし、収容人数を増やす。 ・西小学校と切り離れた利用ができるよう、音楽室を移動し、控室を設ける。 		

7	<p>「めいりん」の充実をお願いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館のような照明（ステージだけでは足りない） ・文化会館のようないくつかの控室 ・座席は今の倍以上 ・駐車場不足 ・玄関までが遠い 		
8	<p>「めいりん」講堂を今までの文化会館で行ってきたのと同じような質の文化活動ができるようにするために、雨音や雷鳴などが公演会や演奏会の邪魔にならない防音にするなどいろいろ検討して、「形だけ整えました」という施設でなく、利用したい、利用できてうれしいと思える施設にしてほしい。</p>		
9	<p>大野市文化会館あり方検討委員会の報告書を踏まえ、広報おおの（令和7年7月号）に文化会館について書かれていたが、解体については一言も書かれていない。計画はあったかもしれないが、市民からは「いきなり」という感じで納得できない。たくさんの署名が出されており、市の方針が変わったときに、市民にもっと丁寧に説明をすべきだったと思う。</p>	<p>文化会館のあり方については、関係団体の代表者や公募で参加いただいた市民の方々に構成される「大野市文化会館あり方検討委員会」で協議が重ねられ、その中で方向性が示されました。</p> <p>市では、その方向性に基づいて必要な調査を行い、総合的に判断したうえで最終的な方針を決定しました。</p>	なし

10	<p>文化会館の耐用年数があること、使用できないことは承知しているが、存続への取り組みが市主体でなされたのか。市民の意見をくみ取ったのか。市民の声を聞いておくという体裁を保つだけの検討委員会だったのか。</p> <p>文化活動をしている側としては、もっと存続の方向性を具体的に検討し、もし市民側の会があるならば、市側、双方で検討し報告する場などがあると良いと思った。</p>		
11	<p>全ての公共施設には、その施設の存在する目標と必要性がある。その内容を深く検討しないで、一律した再編計画のきまりで施設の方向性を決定していくのは、市民にとって理不尽。行政改革として（文化会館の方向性を）決定し、実行した結果、その責任、しわ寄せ、失望などを市民が背負うのではないかと心配。</p>		

12	<p>「１．はじめに」のところに次の①～④のとおり明言しているが、積極的に努力していただきたい。</p> <p>①公共施設の適正配置に特化した行動計画を立てる。</p> <p>②安定した市民サービスを継続的に提供する。</p> <p>③業務遂行上、政策的な観点から施設の必要性について検討を加える。</p> <p>④第六次大野市総合計画の将来像に向けて、公共施設の最適化や長寿命化を着実に進めて、本市の財政規模と将来的な人口規模に見合った、持続可能な行政運営を行うこと。</p>	<p>公共施設の最適化や長寿命化を着実に進め、本市の財政規模と将来的な人口規模に見合った、持続可能な行政運営に取り組んでいきます。</p>	なし
13	<p>上中野集会所について、どうして廃止（機能廃止）の方向性に至ったのか説明してほしい。市は集会所を廃止して、この地域のコミュニティ機能を廃止するのか。</p>	<p>市立集会所の施設方向性における「機能廃止」は、コミュニティ機能をなくすという意味ではありません。各集会所の利用状況や建物状況などが異なる中で、自治会活動等の施設として希望する地元へ譲渡し、所有を移すことで、より自由度の高い活用をしていただけたと考えています。</p> <p>なお、郊外の集会所については、基本的に地元で整備・管理していただけており、市が所有していた一部の集会所についても、同様に地元への譲渡を進めてきました。</p>	なし